

# あゆみ

J C H O  
二本松病院

二本松市成田町1-553  
TEL.0243-23-1231  
FAX.0243-23-5086  
<http://nihonmatsu.jcho.go.jp>  
発行者: あゆみ編集委員会

## 第9回 二本松病院地域協議会を開催しました

平成30年7月26日(木)に第9回二本松病院地域協議会を開催しました。

始めに六角院長より、JCHOがスタートした平成26年4月から、機構の中期目標である5年目の最終年度を迎え、医師不足の中でも地域の皆様ならびに関係者各位のご支援・ご協力を頂き、何とか黒字経営が保てたことに感謝を申し上げます。

その後質疑応答や意見交換の場が設けられ、主に以下のような項目が話し合われました。

### (Ⅰ) 紹介患者の件数が増加しておりますが、特に力を入れた対策はなんですか

地域連携室と、開業医等の先生方との積極的な情報連携が、効果を成した結果と考えます。JCHOの中期計画においても紹介率・逆紹介率の向上は、地域において必要とされる医療・介護機能の確保を図る観点から目標とされています。

### (Ⅱ) 二本松市「産後デイケア」との連携を評価

平成28年10月より開始した、二本松市との委託事業である産後ケアセンターが、利用者からも好評を得ていると報告を頂いております。市としては今後、産後ショートステイも検討したい意向が報告されました。

### (Ⅲ) 地域の財産としての施設

病院機能のみならず健康管理センター・老健・訪問看護と充実した組織体制であることが感謝されました。またその活動は医療のランドマーク的存在と認識し、地域の財産であると高評価を頂きました。

最後に、安田総看護師長から「二本松病院は地域密着型病院であり続けられるように頑張っていくしますので、今後ともご支援のほどよろしく申し上げます。」との閉会の挨拶があり終了となりました。

総務企画課事務長補佐 松坂 貴之





## 福島介護福祉専門学校から 実習生を受け入れました

7月11日から7月18日までの6日間、福島介護福祉専門学校第1段階実習として1年生3名の学生さんが老健で実習を行いました。今回の実習は、介護の見学や体験をし、施設利用者さんの生活について理解を深めるという目標でした。3人とも利用者さんと積極的に関わりを持ち、介護技術の基本や、コミュニケーションの大切さを学ぶことができたようです。

孫より若い学生さんに利用者さんたちも喜んでお話を聞かせてくれました。一緒におりがみを折ったり、歌を歌ったりと楽しい時間を過ごすことができました。

今後の実習は、「介護技術や多職種との連携について」を学んでいきます。介護の奥深さを今回の実習で学びとってもらえたら嬉しいです。実習に協力いただいた利用者さん、各部署のみなさん、ご協力ありがとうございました。

臨地実習指導者会 介護福祉士 渡辺 ゆき



## 中学生の職場体験

二本松第三中学校の2年生が7月10日(火)、11日(水)の2日間にわたり職場体験に来てくれました。元気で笑顔の素敵な生徒たちは、院内の各部署の見学や、車いすの押し方・患者さんの手浴等の看護体験・リハビリ体験をしました。

また、病院には様々な職種の人が働いているので、医療職をもっと身近に感じてもらえるように、各職場長から仕事内容の紹介をしていただきました。見学後学生たちからは「高齢者の飲み薬に対し薬剤師さんが工夫していると思った。」などの感想が聞かれました。

今回職場体験をした学生たちが、医療に興味を持ち私たちのチームに加わり、より良い医療をともに目指せることを楽しみにしています。

この職場体験を通して私達は地域の方々の為に努力していくことの大切さを再認識しました。今後も地域の方々と協力し合いながら成長していきたいと思えます。

ご協力頂いた各部署の皆様には感謝申し上げます。

臨地実習指導者会 渡辺 春江



## 栄養科Webセミナー開催



7月18日に『在宅での「食べられない」を打破する、栄養ケアと多職種連携の方法』と題するWebセミナーを開催しました。患者様や利用者様の「食べられない」という課題はどの職種でも抱えている問題だったので、とても有意義な時間となりました。

キーワードは「気づき」でした。なぜ食べられないのか？食べたくないのか？飲み込めないのか？を気づいてあげ、生活背景や疾患嗜好を知ることで食べられない要因が見つかるということでした。症例も交えても分かり易いセミナーでした。「食支援は、究極の多職種連携であり、「食」べることは「人」を「良」くすること」という言葉がとても印象的でした。食に携わる者としてさらに精進したいと感じました。

管理栄養士 佐久間 美穂

## 転倒予防教室を開催

7月28日に転倒予防教室を開催しました。今回行った内容は「転倒リスクの評価法」と「足指の転倒予防体操」です。「転倒リスクの評価法」は簡単な問診表にまとめて実施したので、転倒しやすくなっていることを認識して頂けたと思います。

「足指の転倒予防体操」は普段あまり動かすことの無い足指の運動であった為、難しかったとの声も聞こえましたが、終始笑顔のあふれる教室になりました。次回は秋頃に開催予定ですので、皆さんの参加を心よりお待ちしております。



理学療法士 椎名 翔太

## 高校生への思春期講座

7月5・6日の2日間、福島県立二本松工業高等学校で「命と性」について講義を行いました。

大人になる前のこの時期に、性について正しく知ることは今後の彼らにとって大切なことです。助産師として経験したエピソードを織り交ぜながら、男女の体のしくみや赤ちゃんの命の尊さ・自身や相手を思いやることの大切さ・避妊の具体的な方法等についてお話をさせていただきました。

生徒からは多くの質問や意見が上がり、楽しく有意義な時間を共有できました。



看護師 佐藤 陽子

## 口腔機能講演会を開催

7月23日老健会議室にてJAもとみや歯科医院ご協力のもと、施設利用者様、そのご家族、近辺の居宅介護事業所を対象とした、「口腔機能講演会 ハッピーマウス2018」を開催しました。老健の利用者様に行っている口腔ケアと経口摂取を重視した活動と結果報告、JAもとみや歯科様の在宅で行う口腔ケア注意点を実演し、参加された方から大変好評をいただきました。今後も関係各所と協力し地域の皆様を支えられる啓蒙活動を続けていきたいと思えます。



介護福祉士 吉田 啓安





# 老健「夏祭り」を開催

本年も7月27日(金)にJCHO二本松老健で、夏祭りを開催しました。

今年の夏は猛暑で、一時は完全に室内での開催も検討しましたが、当日は暑さも酷くなく予定通りの開催となりホッとしています。おかげさまで夏祭りは盛況となり、無事に閉会することができました。

祭りを盛り上げて下さった『三菊会』の皆様、『東和フラクラブ』の皆様、ありがとうございました。



今シーズンは西日本では豪雨、水害、東日本では猛暑、湯水と全国、全世界的に異常気象があり、まだまだ暑い日々が続きますが、皆様にとって楽しい夏、思い出に残る夏となりますことを心よりお祈り申し上げます。

夏祭り実行委員会委員長 二瓶 忠臣



## 今年も皆様の願いを込めて、玄関ホールに七夕を飾りました。

今年は七夕で使う五色の短冊の由来を紹介し、患者様や家族の方に足を止めていただき、大変好評でした。短冊のほかに笹飾りをつけることで笹が一段と華やきました。

短冊に込められた、皆さんの願いや思いが届きますように。

サービス向上委員会一同



## 朝の挨拶

患者様をお出迎えの目的で、就業前にスタッフと共に、外来診察前で患者様向けに、朝の挨拶をするようにしています。「お待たせいたしました。」「おはようございます。本日もよろしくお願いいたします。」はじめは声を出すのに戸惑いがありましたが、患者様から「気持ち

のよい挨拶で始まるので、診察まで待っていただけますよ。」と嬉しい声が聞かれ、最近では私たちの挨拶の後に患者様からも「おはようございます。」の挨拶があり嬉しい事です。これからも地域に必要とされる病院を目指していきたいと思います。

外来看護師長 鈴木 ゆみ

## 栄養管理室では、患者様に行事食を提供しています。



### 七夕の日のメニュー紹介

- ・七夕そうめん
- ・天ぷら
- ・夏野菜の煮物
- ・すいか

## 編集後記

夏は、蚊に刺されながらも町内の花火大会見学、トウモロコシ丸かじり。実家に帰省して、冷えたビールをぐっと飲んで心もリフレッシュ。でしたが、子供の夏休みが終わりに近づくと宿題に追われる日々が待っていました。トホホ・・・ Y・M記